

2022 こくみん共済 coop 杯
九州少年サッカー長崎県大会 開催要項

- 1 趣 旨 一般社団法人長崎県サッカー協会は、日本の将来をにやう少年たちのサッカーへの興味・関心を深め、さらにサッカーの技術・理解の向上と健全な心身の育成・発達を図ることを目的とした大会を開催する。この大会は、少年たちがサッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指すものである。
- 2 主 催 一般社団法人長崎県サッカー協会
- 3 主 管 一般社団法人長崎県サッカー協会第4種委員会
諫早市サッカー協会、大村市サッカー協会、東彼杵郡サッカー協会
雲仙市サッカー協会、島原市サッカー協会、南島原市サッカー協会
- 4 協 賛 こくみん共済 coop 長崎推進本部
- 5 後 援 長崎県教育委員会、公益財団法人長崎県スポーツ協会、株式会社長崎新聞社
- 6 期 日 **令和4年3月12日(土)、13日(日)、19日(土)**
予備日：令和4年3月20日(日)
- 7 会 場 国見総合運動公園多目的芝生広場、百花台公園サッカー場、古賀島サッカー場
- 8 閉 会 式 古賀島サッカー場 令和4年3月19日(土) 午後2時30分～予定
- 9 参加資格
 - (1)「参加チーム」は、令和3年度に公益財団法人日本サッカー協会第4種に登録したチームで、各地区の予選を勝ち抜いてきた代表チームであること。なお、郡市協会で確認を行い、申込用紙に郡市協会長の印を押印の上、原本を大会初日の受付時に提出すること。
 - (2)上記「参加チーム」の構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動していること。
 - (3)「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手であること。
 - (4)チームの構成は、選手18名以内、引率指導者5名以内とする。
 - (5)郡市予選から県大会に至るまで、同一加盟チームからの複数エントリーを可とする。なお、各郡市予選の開催にあたって同一チームの複数エントリーの可否については、郡市協会の判断による。
 - (6)郡市予選から県大会に至るまでに、同一「参加選手」が、異なる「加盟チーム」への移籍後再び参加することはできない。
 - (7)「参加選手」は(公財)日本サッカー協会の発行した「加盟チーム」の選手証(写真添付されたもの)を持参すること。
 - (8)引率指導者は、「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、内1名以上が公益財団法人日本サッカー協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。
 - (9)「参加選手」は健康であり、かつ保護者の同意を得ること。また、本大会の実施に当たり、可能な限りコロナウィルス感染拡大の防止対策を実施するが、**参加する全ての選手、引率指導者、保護者は感染リスクがあることなどに同意の上、参加すること。**
 - (10)「参加チーム」は、参加するに当たり所属する郡市協会、自治体の新型コロナウイルス感染防止対策に関する方針、指導等を遵守すること。
 - (11)「参加チーム」は、必ず傷害保険(スポーツ安全傷害保険)に加入していること。

10 参加チーム及びその数

長崎市9、佐世保市（壱岐市含む）5、諫早市、大村市各3、島原市、西彼杵郡各2、
平戸市、五島市、雲仙市、南島原市、対馬市、北松浦郡、東彼杵郡各1、開催地枠1（県央地区）

合計 32 チーム

11 競技方法

- (1) 全てトーナメント方式で行う。
- (2) 規定の試合時間内に勝敗が決しない場合は、**2回戦までは、ペナルティキック方式により勝敗を決定**する。3回戦から10分間（前後半各5分）ずつの延長戦を行い、決しない場合は、ペナルティキック方式により勝者を決定する。なお、延長戦に入る前のインターバルは5分、ペナルティキック方式に入る前のインターバルは1分とする。

12 競技規則

- (1) 2021-2022公益財団法人日本サッカー協会競技規則に準じるものとする。
- (2) 本大会において、異なる試合において警告を2回受けた競技者は次の1試合に出場できない。
- (3) 本大会において、退場を命じられた競技者は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
- (4) ベンチに入ることができる人数は15名（交代要員10名、引率指導者2名以上5名以内）とする。
- (5) テクニカルエリア内で戦術的指示をその都度ただ1人の引率指導者が伝えることができる。
- (6) 負傷した競技者の負傷の程度を確かめるために入場を許される引率指導者の数は2名以内とする。
- (7) スパイクゴム底は、固定スタッドに限る（取替えスタッドは認めない。）。
- (8) ピッチサイズ：縦68m、横50m
ペナルティエリア：ゴールライン上、ゴールポスト外側に12m、その地点からゴールラインに直角12m
ゴールエリア：ゴールライン上、ゴールポスト外側に4m、その地点からゴールラインに直角4m
センターサークル：半径7m
ペナルティマーク：8m
ペナルティアーク：半径7mの半円弧
フリーキック時の壁との距離：7m
コーナーアーク：1m
ゴール：少年用（5m×2.15m）の移動式ゴールポストを使用する。
- (9) 審判については、主審、副審（2名）、予備審の4名で行う。【**帯同審判員制**】
- (10) テクニカルエリアを設置する。
- (11) 試合球は4号検定球（楸モルテンより提供）とし、本部で用意する。
- (12) グリーンカード制度を導入する。

13 競技者の用具・ユニフォーム

- (1) 本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
- (2) 正・副の2色については明確に異なる色とする。
- (3) ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。
- (4) ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同色系でも良いものとする。
- (5) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。

- (6) 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- (7) ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- (8) アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- (9) アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

14 参加申込

- (1) 参加申込の人員は、選手18名、引率指導者5名を最大とする。
- (2) 締切日：**令和4年3月4日(金)までに指導者の登録変更を認める(選手の登録変更は認めない)**。
【期限厳守でお願いします。それ以降の申込は一切受け付けませんのでご注意ください】
- (3) 提出物 **※既に提出済の場合は不要**
 - ①参加申込書 ②プライバシーポリシー ③緊急連絡表 ④パンフレット用名簿

※ 長崎県サッカー協会HP上よりダウンロードの上、E-mailで提出下さい。
<届出方法・届出先>
一般社団法人長崎県サッカー協会第4種委員会 小村 貴光宛
携帯：090-3985-5303
Email：shizukukom@yahoo.co.jp

15 参加料

10,000円【銀行振込(チーム名で振込むこと。)】
振込先：十八親和銀行 大波止支店 普通 口座番号 3199603
：一般社団法人長崎県サッカー協会 会長 殿村 育生
注 意：振込み手数料はチーム負担でお願いいたします。

16 代表者会議

- (1) **令和4年3月5日(土)18:00より代表者会議をリモート(Zoom)で実施**する。各チームから監督または、チームを掌握指導する責任ある指導者が参加すること。保護者の代理出席は認めない。
- (2) ユニフォームについては、当日の試合開始70分前に指定した場所において、決定する。

17 新型コロナウイルス感染拡大の防止対策

- (1) コロナウィルス感染拡大の防止対策のため、参加チームは「新型コロナウイルス対応版チェックリスト」を試合当日提出すること(**勝ち進んだ場合はその都度**)。また、健康チェックシートは選手、引率指導者、観客席エリアに入る保護者(以下「本大会参加者等」という。)の分を指定された期間保管すること。健康チェックシートを提出した本大会参加者等については、ADカードを配布する。
- (2) 大会運営、審判等については、健康チェックシートを大会本部へ提出の上、ADカードを配布する。ADカードがないものは、試合会場、観客席等の指定されたエリアに入ることにはできない。なお、観客席については、十分に距離が保てる場合には入場の都度、検温及び名簿への記入の上、入場を許可する場合がある。
- (3) 試合会場、観客席等の指定されたエリアへの入場の際には、検温、消毒、マスクの着用の上、入場を許可する。

18 その他

- (1) 今回、申込等により保有した個人情報については、2022こくみん共済 coop 杯九州少年サッカー長崎県大会以外の目的には利用いたしません。
- (2) **大会規程に違反し、その他不都合な行為があった時は、そのチームの出場を停止**する。
- (3) 本大会要項に規定されていない事項については、第4種委員会において協議の上、決定する。
- (4) 異議：ベンチ（監督、コーチ、スタッフ等）が審判の判定に対して異議を唱えたり、選手に対し罵声を浴びせる等のネガティブなコーチングにより、主審から一度注意を受けた後に再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退席処分とし、それ以降はベンチからのコーチングを不可とする。
- (5) 暴力根絶運動の一環として、全ての試合において「ウェルフェアオフィサー」を配置する。
- (6) 雷・台風等の自然災害時においては、可能な限り、限られた範囲で最大限大会を実施する。実施不可能と判断した場合は大会本部と競技関係者において対応を決定する。対応策がない場合は抽選で次回戦進出チームを決定する。